

「南相馬市 市民活動サポートセンター」 について

南相馬市市民活動サポートセンター
事務局長 小畑 瓊子

設立：平成17年4月1日

設立の背景：

市民と行政のまちづくりを推進するに当たっては、自発的に社会課題に取り組む市民やボランティア団体、NPO等の市民活動団体の新たな公共の担い手が重要な役割を果たしています。

このため、市民と行政の協働のまちづくりを推進する上でどのようなものが必要となるかについて、行政と市民活動団体が平成13年度から協議を重ね、市民活動を行う市民の情報交換や交流、活動の拠点施設、そして市民活動の更なる推進を図るための拠点施設として設立。



開所式

2005. 4. 14



公益活動を行う市民活動団体を 総合的に支援するための拠点とし ての位置づけ

公益活動とは

- ・自らの自由意思に基づき、自主的・自発的に
行う活動
- ・誰に対しても開かれていること
- ・幅広く多くの人たちの(幸せの)ためであること
- ・営利を目的とせず、社会に貢献する活動
- ・政治上の主義の推進や宗教の教義を広める
ことを目的とするものではないもの

事業の内容

1. 市民活動に関する情報収集と提供
2. 市民活動に関する学習、研修機会の提供
3. 市民活動やボランティアの相談
4. 市民活動団体相互の連携、交流
5. 市民活動のための場所や施設の提供

平成17～26年度年度別利用者数

年 度	17時迄	17時以降	合 計	
平成17年度	2,374	921	3,295	
平成18年度	1,876	568	2,444	
平成19年度	1,930	430	2,360	
平成20年度	2,031	536	2,567	
平成21年度	2,243	555	2,798	
平成22年度	1,905	569	2,474	(3月11日東日本大震災)
平成23年度		2,949	459	3,408
平成24年度	3,266	578	3,844	
平成25年度	2,946	580	3,526	
平成26年度	2,627	481	3,108	(参考:1/末現在)
合 計	24,147	5,677	29,824	

震災前と震災後

来客数の変化 2,474人→3,526人

来客の変化 地元の団体 → 様々な地域

スタッフ数 2.5人 → 震災直後 1.5人

これからの課題

- ・目的は地域の課題解決、よりよい地域づくり、
- ・震災後、南相馬市の20年先であったらう現実を、
どう考えまちづくりを考えるか。
 - 今までのまちづくりとこれからのまちづくりは違う
 - これを踏まえたまちづくりを考えなければならない
- ・財政基盤の強化(95%が市の補助金)
 - 人材(スタッフ)の確保が難しい
 - 専門性の人材の確保などは夢のまた夢
 - 行政の理解度が低い(担当部署、人の交代など)
- ・地域と連携し課題を解決できる仕組みをどう作るか
 - NPO団体は今なにが必要で、次に何が必要になるか
 - 2歩先の視野・1歩先のプログラムを考える
(せめてその半分でも考える事のできるさぽせん)